

1. 科目名 (単位数)	経済学 (国際経済を含む) (2 単位)	3. 科目番号	GELA2318
2. 授業担当教員	谷口彰一		
4. 授業形態	講義、学生による発表	5. 開講学期	春期・秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本科目は、経済が動く仕組みがよく理解できるように、必要とされる経済学 (国際経済を含む) の基礎知識を体系的に得ることを目的のひとつとする。</p> <p>さらに、そうした基礎知識を「生きた知識」として活用させ、世界や日本国内で起こっている各種の経済問題やそこで活躍する企業や政府などについて理解することによって、分析するツールとして利用できるようになることが最終的な目的となる。</p>		
8. 学習目標	<p>1. 経済現象の背後に貫徹する法則を説明できるようになる。</p> <p>2. 財政金融関係の基礎知識について学び、説明できるようになる。</p> <p>3. 国際経済・日本経済の歴史について、自らの意見をレポートにまとめ発表することができるようになる。</p>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	小テストはそれまでに学んだ知識について、言葉とその意味をどれだけ理解しているかという観点から出題します。		
10. 教科書・参考書・教材	井堀利宏著『コンパクト経済学 (第 3 版)』新世社、2024。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済現象や財政金融関係の基礎知識、企業経済・労働経済について学び、説明できるようになる。 ・ 世界経済や日本経済の歴史や現状について、自らの考えをレポート等にまとめ発表できるようになる。 <p>○評定の方法</p> <p>授業態度および積極的参加度 (授業への取り組み・発言) 等 20%</p> <p>小テスト・発表 30%</p> <p>期末試験・レポート 50%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本学の基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としている。受講生は、下記のことを守ること。</p> <p>① 授業には欠席、遅刻、早退はしないこと (欠席、遅刻、早退の場合は、その理由をメールで提出のこと) 。</p> <p>② 授業中理解できなかったことは、そのまま放っておかず質問すること。</p> <p>③ 授業中は私語、居眠りをしないこと。また、携帯電話の電源は切っておくこと。</p> <p>④ 授業中は緊張感と集中力を保ち、積極的な態度で授業に参加すること。</p> <p>⑤ 課題の提出期限を厳守すること。</p>		
13. オフィスアワー	授業内 (初回授業) で周知する。	空間	修正できません
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	イントロダクション 経済学とは	事前学習	テキストの著者の考え方を知る上で、「はしがき」を読み、理解する。
		事後学習	経済学とは何かについてまとめる。
第 2 回	経済学の分野と歴史について学ぶ ・ ミクロ経済学とマクロ経済学	事前学習	テキスト第 1 章 pp.10 ~ 20 を読んでまとめる。
		事後学習	ミクロ経済学とマクロ経済学の違いについてまとめる。
第 3 回	消費者行動について考える① ・ 家計の消費行動	事前学習	テキスト第 2 章の pp.21 ~ 24 を熟読し、内容をまとめる。
		事後学習	家計の消費行動についてまとめる。
第 4 回	消費者の行動について考える② ・ 消費と貯蓄の決定 ・ 限界効用	事前学習	テキスト第 2 章の pp.24 ~ 32 を熟読し、内容をまとめる。
		事後学習	限界効用逓減の法則についてまとめる。
第 5 回	消費者の行動について考える③ ・ 価格変化による代替効果 ・ ギッフェン財	事前学習	テキスト第 2 章の pp.32 ~ 37 を熟読し、内容をまとめる。
		事後学習	ギッフェン財についてまとめる。
第 6 回	消費者と企業の行動について考える ・ 労働供給の決定 ・ 費用と利潤	事前学習	テキスト第 2・ 3 章の pp.38 ~ 51 を熟読し、内容をまとめる。
		事後学習	労働供給曲線についてまとめる。
第 7 回	企業の行動について考える ・ 独占企業 ・ 企業の誕生と倒産	事前学習	テキスト第 3 章の pp.52 ~ 58 を熟読し、内容をまとめる。
		事後学習	企業の誕生について考えをまとめる。
第 8 回	市場のメカニズムについて考える ・ プライス・テーカー ・ 需要と供給	事前学習	テキスト第 4 章の pp.59 ~ 64 を熟読し、内容をまとめる。
		事後学習	競り人 (オークションナー) についてまとめる。

第9回	完全競争市場のメリットについて考える ・ 完全競争市場 寡占企業	事前学習	テキスト第4章の pp.64～76 を熟読し、内容をまとめる。
		事後学習	カルテルについてまとめる。
第10回	市場の問題について考える ・ 市場の失敗 ・ 独占と公的規制	事前学習	テキスト第5章の pp.78～96 を熟読し、内容をまとめる。
		事後学習	外部効果についてまとめる。
第11回	政府について考える ・ 政府の役割 ・ 税金の取り方	事前学習	テキスト第6章の pp.97～114 を熟読し、内容をまとめる。
		事後学習	政府の4つの機能についてまとめる。
第12回	金融について学ぶ ・ 貨幣と金融市場 ・ 企業と金融	事前学習	テキスト第7章の pp.115～130 を熟読し、内容をまとめる。
		事後学習	ビットコイン(テキストコラム p.127)についてまとめる。
第13回	マクロ市場について学ぶ ・ GDP ・ IS-LM モデル	事前学習	テキスト第8章の pp.131～150 を熟読し、内容をまとめる。
		事後学習	派遣労働はなぜ低賃金なのか?(テキストコラム p.149)についてまとめる。
第14回	マクロ政策について学ぶ ・ 財政政策 ・ 金融政策	事前学習	テキスト第9章の pp.151～176 を熟読し、内容をまとめる。
		事後学習	財政赤字の経済的な意味についてまとめる。
第15回	国際経済について学ぶ ・ 貿易 ・ 日本経済の国際化	事前学習	テキスト第10章の pp.177～195 を熟読し、内容をまとめる。
		事後学習	国際収支と為替レートについてまとめる。
期末試験			